

No.	022	—	2001	事務事業名	学校教育施設修繕・工事業務	細事務事業名		公的関与	3				
PLAN	課名	学校教育課	係名	学事係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 学校教育の充実		主要施策	(1) 学校施設・設備の整備				
	事業の対象	児童・生徒、教職員				根拠法令							
	事業の目的	最終的	学校施設に係る安全性の向上、利便性の追求			今年度							
	活動内容	①	施設の改修、補修			④							
		②	校舎の耐震化、改築			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
		耐震化率	耐震工事が完了した校舎等の棟数 / 耐震化が必要な校舎等の棟数		%	目標			77.36	100			
				実績	62.26	66.04							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	312,481 千円	333,533 千円	97,161 千円								
		地方債	56,100 千円	536,300 千円	686,300 千円								
		その他特定財源	0 千円	12,003 千円	9 千円								
		一般財源	160,305 千円	240,770 千円	555,409 千円								
		計(A)	528,886 千円	1,122,606 千円	1,338,879 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.350 人	10,198 千円	1.394 人	10,508 千円	1.350 人	9,979 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		539,084 千円		1,133,114 千円		1,348,858 千円						
一次評価者	学事係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	施設の安全管理上不可欠です。												
有効性	事前調査に基づき実施しており、必要な内容を満たしています。												
達成度	緊急性のあるものは早急に対応しており、耐震化については計画を上回るペースで進めています。												
効率性	最も効果のある設計を熟考し、入札により適正な価格で実施しています。												
当面の課題	できる限り早急に校舎の耐震化を進めます。												
改計画	担当職員を増員し分担することで、年間工事数の増加を図ります。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	遅くとも平成29年度には耐震化率100%となることを目指し、また出来る限り先取りして早期耐震化を推進してください。												

No.	022	—	2003	事務事業名	青少年補導センター事業	細事務事業名		公的関与	4				
PLAN	課名	学校教育課	係名	学事係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkoyoiku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 青少年の健全育成		主要施策	(2) 健全な社会環境づくりの推進				
	事業の対象	青少年補導センター				根拠法令							
	事業の目的	最終的	青少年の非行を未然に防止するため、関係機関及び関係者の連携を強化し、非行防止体制の強化を図り、有害環境を浄化して青少年の非行をなくします。			今年度							
	活動内容	①	該当補導の実施			④	教育相談						
		②	少年健全育成協議会補助			⑤							
		③	各種補導連絡協議会を通じた関係機関との情報交換・連携強化										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
		街頭補導回数		年間に渡り、毎月平日2回、休日1回、特別巡回補導等を計画		回	目標	36	37	35	36		
					実績	34	33						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,209 千円	1,372 千円	2,060 千円								
	計(A)	1,209 千円	1,372 千円	2,060 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	755 千円	0.100 人	754 千円	0.100 人	739 千円					
		臨時職員工数・経費	1.500 人	2,567 千円	1.500 人	2,553 千円	1.500 人	2,520 千円					
	全体事業費(A+B)		4,531 千円	4,679 千円	5,319 千円								
一次評価者	学事係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	青少年の非行問題が重要視されている中にあり、補導センター業務は必要不可欠な事業です。												
有効性	補導センターの先導により、巡回活動や啓発活動など各地域でも見守り活動を実施する気運が高まっており、有効性が高い事業です。												
達成度	補導活動のみならず、巡回の際に青色防犯パトロールを実施することにより、青少年の非行行為を抑止し、犯罪被害を未然に防止することが出来ています。												
効率性	平成21年度から、補導活動を縮小することなく、補導委員報酬を廃止し、巡回1回当りの費用弁償に改正しているため、適正に執行されています。												
当面の課題	地域の状況を的確に把握しながら、効果的な情報提供を行うなど、情報共有化の促進が必要です。												
改 革 画	今後も問題行動に対し、より迅速かつ有効な対応をしていきます。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	青少年補導センターの活動をもっと周知し、補導活動だけでなく相談活動も行っていることを広める必要があります。												

No.	022	—	2005	事務事業名	登下校通知システム業務	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	学校教育課	係名	学事係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 学校教育の充実		主要施策	(1) 学校施設・設備の整備				
	事業の対象	市内小学校のシステム利用を希望する児童・保護者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	登下校通知システムを利用することで、保護者の方々にも登下校における危機意識を持っていただき、少しでも子どもたちの安全確保を図ります。			今年度							
	活動内容	①	ICカードとインターネットメールを用いて、児童の登下校時刻を保護者の登録されたEメールアドレスへ送信します。			④							
		②				⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
		登下校通知システム加入率		加入児童数/全児童数		%	目標 30	30	30	30			
					実績 26.3	23.1							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	80 千円	70 千円	79 千円								
		計(A)	80 千円	70 千円	79 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	755 千円	0.100 人	754 千円	0.100 人	739 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		835 千円		824 千円		818 千円						
一次評価者	学事係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	児童の登下校における安心安全のため、また、保護者における危機意識の啓発のため必要性は高い事業です。												
有効性	利用している保護者において、児童の登下校における危機意識を啓発することにおいて有効です。												
達成度	システム利用者において状況がさまざまですが、需要に対して情報提供することが出来ています。												
効率性	加入促進が図れるよう検討します。												
当面の課題	登下校通知システム利用者の加入促進が必要です。												
改革計画	システム加入促進が図れるよう検討します。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	登下校通知システム利用者の加入促進が必要です。												

No.	022	—	2006	事務事業名	不審者情報配信システム事業	細事務事業名		公的関与	5				
PLAN	課名	学校教育課	係名	学事係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 学校教育の充実		主要施策	(1) 学校施設・設備の整備				
	事業の対象	不審者情報配信システム登録者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	学校、地域で情報を共有することで効果的な防犯対策を行い、児童生徒の安全を確保することにより、安心して学校生活を送れるよう防犯意識の啓発を行います。			今年度							
	活動内容	①	地域の不審者情報を収集し、携帯電話やパソコンへEメールで配信します。			④							
		②				⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
		登録件数		地域全体で情報を共有し防犯対策を行うため。		件	目標	市民全員	市民全員	市民全員			
					実績	894	955						
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	72 千円	72 千円	72 千円								
	計(A)	72 千円	72 千円	72 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	755 千円	0.100 人	754 千円	0.100 人	739 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		827 千円	826 千円	811 千円								
一次評価者	学事係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	児童生徒が安心して充実した学校生活をおくるため、不審者児童生徒を守るうえで重要です。												
有効性	不審者情報を共有することにより、保護者、地域と連携して児童生徒が安心して学校生活を送ることが出来るような環境整備が図れます。												
達成度	不審者情報を共有することにより、防犯意識の高揚を図るとともに、地域住民と一緒に対応するなど、地域ぐるみで防犯対策づくりを一層充実させることが出来ています。												
効率性	登録者に対する情報配信方法としては、事業費が定額であり、効率的です。												
当面の課題	不審者情報配信システム登録率の促進が必要です。												
改 革 画	保護者のみならず、地域住民に配信システムを周知し、登録率を高めて、より効果的な安全対策に努めます。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	不審者情報配信システム登録率の促進が必要です。												